

2016年10月14日  
株式会社 山と溪谷社  
<http://www.yamakei.co.jp/>

2017年は坂本龍馬没後150年。龍馬ゆかりの地を旅しながら、  
生き様を読み解く異色のガイドが復刊。

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎深雪）は、9月22日にヤマケイ文庫『坂本龍馬を歩く』を刊行しました。

今もなお、小説、ドラマなどで多くの人々を魅了する幕末の志士・坂本龍馬。

本書は、龍馬が生まれた土佐を皮切りに、若き日の江戸遊歴、勝海舟に師事した神戸、亀山社中や海援隊を結成した長崎、おりょうと旅立った霧島、そして最期の地・京都など、ゆかりの地13カ所を旅しながら龍馬の生き様を読み解くガイドです。龍馬が滞在した場所ごとに、龍馬が何を考え、何を行なったかを解説しています。

文庫化にあたっては、単行本の発刊以降に史実として明らかになった事項等を加筆・修正したほか、施設情報など一部を省略しております。

坂本龍馬が亡くなって150年を迎える今、龍馬ゆかりの地を訪ね、龍馬の生き様に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【著者プロフィール】

一坂太郎 いちさか・たろう

1966年、兵庫県出身。歴史家。萩博物館特別学芸員、至誠館大学特任教授、防府天満宮歴史館顧問、春風文庫主宰。近著に『幕末「長州」史跡散歩』『山県有朋の「奇兵隊戦記」』（洋泉社歴史新書）、『吉田稔麿 松陰の志を継いだ男』（角川選書）、『吉田松陰と高杉晋作の志』（ベスト新書）、『吉田松陰とその家族』（中公新書）、『楫取素彦と吉田松陰の妹・文』（新人物文庫）、『司馬遼太郎が描かなかった幕末』（集英社新書）など。山口県ふるさとづくり功労賞受賞。講演やテレビ出演も多数。

【書籍概要】

書名：ヤマケイ文庫『坂本龍馬を歩く』

著者：一坂太郎

仕様：文庫版（148mm×105mm）、並製

ページ数：288ページ

定価：本体価格800円＋税

ISBN：978-4-635-04822-4

発売日：2016年9月22日

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を  
持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに、専門性の高いコンテ  
ンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

---

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当 井澤

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目105番 神保町三井ビルディング

TEL 03-6744-1911 メール [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)